



未来に向かって伸びる鶴嶺の子

鶴小だより 5月号

茅ヶ崎市立鶴嶺小学校
校長 日高 大司郎
令和6年5月2日発行



こんな風に学校を創ります！！

新年度がスタートして、1月が経ちました。今月は、今年度の学校経営についてお話をさせていただきます。

本校のミッション（鶴嶺職員の存在意義）は、

未来に向かって伸びる鶴嶺の子

を育てることです。本校の職員は全員、このミッションを遂行するために働きます。しかし、この「～鶴嶺の子」は大きすぎて、どのように育てることがそういった子どもたちに育てられるのか、はっきりしませんでした。そこで、一昨年度、教職員で「～鶴嶺の子」ってどのような子なのか、イメージを出し合い、まとめました。そして、昨年度そのイメージの子どもたちは、どのような資質・能力を身につけているべきなのかを考えました。

【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【学びに向かう態度・人間性等】
自己及び他者を理解する力	自己を表現する力	粘り強く取り組む力
自己評価できる力	多様な考えを比較対照する力	前向きに考える力
多様性を受容する力	自己選択・自己決定する力	思いやる力
共感する力	未来を想像したり、考えたりする力	よりよい生き方・よりよい社会を求めめる力
チームワーク力	課題発見・分析する力	自尊感情
コミュニケーション力		主体的に行動できる力
自律する力		

漠然とした「～鶴嶺の子」を身に付けるべき能力として明確にすることができました。

今年度は、この明らかになった能力のどこに注力するのかを検討して、焦点化し全員で育成に取り組む能力を「ビジョン」（鶴嶺職員は何をするのか）として表しました。

- 自分で考え学ぶ「かしこい子」
- 仲間とふれあう「やさしい子」

○かしこい子→**自分を知り、表現する力の育成**
 ○やさしい子→**多様な考えを受容する力の育成**

「自分を知り～」と「多様な考えを～」の部分です。各学年・学級で、この力をつけるために「具体的にどうするか」を考え実践するようにお願いしています。

このミッション・ビジョンを二年間で整理したことによって、教職員が今めざすべきところを明らかにできたと考えています。今年度は、教職員全員が、この同じ資質・能力の育成に向けて教育実践を始める初年度となります。数年間ビジョンを変えずに取り組むことで、必ず子どもたちの姿として、その効果を実感できるはずだと考えています。

それから、鶴嶺の教職員全員が大切にする共通の価値観・行動指針（バリュー）も設定していま

す。目標を現実にするための方法論です。

- 「つながり」を意識し大切にする
- 「エビデンス」を明確にし、教育活動を行う

「つながり」については、なんとなくつながるのではなくて、ねらって、意図して、つながっているという僕ら教職員の姿勢です。学校経営的にも学級経営的にも、欠くことのできない重要にすべきこと、という認識を共有しています。

もう一つは、「エビデンス」ですが、根拠と訳されると思います。僕ら教職員は、自分たちが願う子どもの姿を実現するために、何をどのようにすべきかという根拠をじっくり考え、「具体的な手立て」をはっきりして教育活動をしていきます。思いや願いを実現するためには、具体的な手立てをもつことが絶対必要だからです。

この2点を、鶴嶺小の働き方として位置づけ、大切にすることで、ミッション実現をめざしていきます。と同時に、職員1人1人がこの「バリュー」が当たり前になり、無意識でできることをねらっていきます。

最後に、今年度の重点目標についてお話します。昨年度と内容は変えていません。ここで話す内容が、学校評価アンケートで保護者の皆様にお伺いする内容となりますので、どうぞ学校へいらっしゃる際の視点としていただければ幸いです。

①「安全」「安心」できる学校づくり。

○不登校を増やさないための具体的な手立てを考えていきます。

②授業改善の推進

○授業内容について、学年で一緒に考えたり、シェアできるようにしていきます。

○授業を職員同士、見合う機会を増やしていきます。

③豊かな心の育成

○子どもたちにしっかりあいさつしていきます。

○特別活動を柱として、子どもの主体性を大事にします。

※3つの重点目標の下の○印は、特に今年度力を注ぎたいと考えている内容です。

今年度の学校経営について、お話をさせていただきました。学校でできることには限りがあります。保護者の皆様と手を携えて、一緒に子どもたちを育て参りたいと考えています。まずは、一緒に声に出して互いにあいさつできるようにしましょう。保護者と教職員のととも育ての第一弾です。今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。